

マツキヨココカラ&カンパニー 環境方針

世界では気候変動による環境問題が深刻化し、日本国内でも解決すべき重要な課題として対応が求められています。特に地球温暖化は人類の存続を脅かすとも予測され、予断を許さない状況となっています。

今後、考えられるリスクとして、移行リスクとして炭素価格の導入・引上げ、GHG（Greenhouse Gas:温室効果ガス）の排出規制強化、電力価格の上昇、フロン規制強化、プラスチック規制強化、消費思考の変化、物理的リスクとして気象災害の激甚化、平均気温上昇を認識しています。

このような状況の中、当社グループは、気候変動に関するリスクと機会の分析、事業戦略への影響の把握、気候変動の緩和や適応につながる対策検討および情報開示を各関連部署の役割とし、そして、気候変動対応にかかる各分析や対策等の審議・評価を実施し、取締役会への報告・提言を行う役割として、代表取締役社長を委員長としたサステナビリティ委員会を設置しています。

<当社グループが注力する取組み>

- ・環境負荷を低減し、地球の健康を維持するため、当社グループだけでなくステークホルダーの皆さまと協働しながら、低炭素社会へ貢献・当社 PB 商品の環境配慮型へのシフト・事業を通じたエンカル消費の普及を進め、気候変動による影響を軽減します。
- ・環境意識の向上を図り、資源の節約などの環境保護活動に積極的に参加します。
- ・商品・サービスの研究、開発、製造、販売および廃棄等にあたっては、常に生態系・生物多様性を含む自然環境の保全、水資源の保全の重要性を十分に認識し、環境に関する条約、法令等を遵守します。
- ・環境負荷をできる限り削減し、環境との調和を図った事業活動を進めることで、「循環型社会」の形成に貢献します。
- ・次世代へ引き継ぐ社会が環境と調和した豊かなものとなるよう、限りある地球環境を守るため、環境負荷低減を考えた事業活動を行うとともに、自然保護活動にも積極的に参加します。
- ・一人ひとりが日常業務の中で「ムリ・ムダ・ムラ」をなくすよう努め、省資源・省エネルギーを徹底して、環境にやさしい職場を目指します。
- ・廃棄物を適正に処理、削減します。また、事業活動にて発生する汚染物質を適正管理し、地球環境の汚染防止を推進します。

- ・資源利用の効率を改善します。
- ・水資源の効率的な利用および適正な排水量管理を行い、事業に伴う使用量を削減します。

2024 年 2 月

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー
代表取締役社長 松本 清雄